



インド

42 スリサイラム 送電線建設事業(1)(2)

A

B

C

D

アンドラ・プラデシュ州のスリサイラム揚水発電所に関連する送電線等を建設することにより、同州の電力需給の改善を図り、もって同州の経済発展に寄与する。

承諾額/実行額 133億5,200万円／101億2,100万円
借款契約調印 1992年12月、1995年2月
借款契約条件 金利2.6%、返済30年（うち据置10年）、
部分アンタイド(1)／一般アンタイド(2)
貸付完了 2000年4月、2002年4月



外部評価者 笹尾隆二郎（アイ・シー・ネット(株)）
現地調査 2003年7月

評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに送電線等の建設および変電所の新設・拡張などが行われた。期間は、森林伐採許可の取得に時間を要し、計画を大幅に上回ったものの、事業費は計画を下回った。約7,600万人の人口を抱えるアンドラ・プラデシュ（AP）州において、事業対象地域（人口約1,000万人：東京都約1,244万人）は、同州の主要な電力の消費地でありながら送電電圧が低い状態にあったが、本事業により高電圧での送電が可能となり、安定送電および送電ロス率の低下（2000年度8.8%→02年度7.4%）が実現した。また、設備稼働率の過去3年間に於ける平均は99.3%であり、良好な状態である。AP州の1998年度から01年度のGRDP（域内総生産）年平均成長率は約6.7%であり、全国平均の約5.7%を上回っている。また、IT産業の急速な発展・集積で世界の注目を

浴びている州都ハイデラバードの複数の企業からは、「停電や電圧低下がほとんどなくなった」との声が聞かれ、投資環境にもプラスとなっている。実施機関であるAP州送電公社（APTRANSCO）は、99年度に同州電力庁の機構分離により発足し、現在の技術スタッフは質・量ともに十分な状況にあり、技術および体制面は問題なく、財務面は良好である。

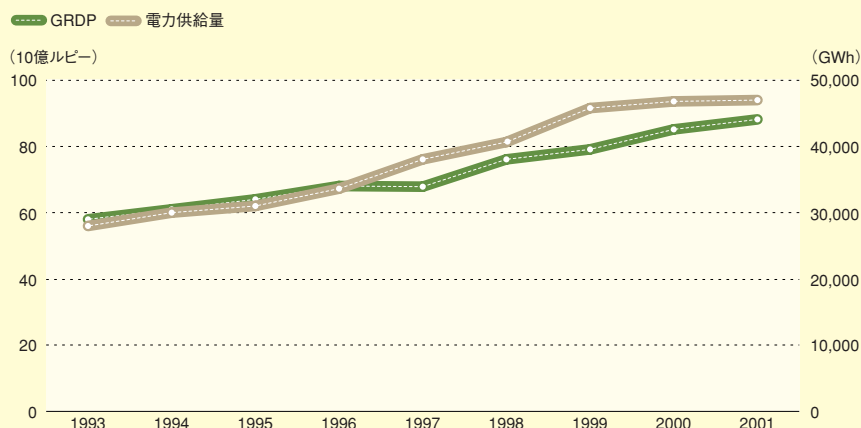
第三者意見

本事業による電力需給の改善が、AP州における国際的IT企業の投資促進やハイデラバードのハイテク都市化に貢献した。

有識者 Mr. S. Narayan

インド工科学院博士課程修了（エネルギーマネジメント）。元財務大臣。現在首相経済顧問。専門は財政。

AP州におけるGRDPと電力供給量の推移



電力供給量の伸びとともにGRDPも着実に増加している。ハイテク都市ハイデラバードでは、世界的なIT関連企業等による投資も増加している。

出所：AP州 Economic Survey 2002-2003, APTRANSCO